

四十四田ダムの魚のへい死に関する情報(第2報・終報) ～ へい死した魚から感染性の病気は確認されず ～

2月7日に盛岡市内の四十四田ダム直下流で発見されたフナのへい死について、岩手県内水面水産技術センターにへい死の原因調査を依頼しておりましたが、調査の結果、感染性の病気は確認されませんでした。

また、ダム湖面及びダム直下流の巡視を継続しておりましたが、新たなへい死は見つかっておりません。

今後は、通常の巡視体制で巡視を継続していきます。

これまでの経緯

- 発生場所：盛岡市内下厨川（四十四田ダム直下流）
- 発生日時：平成30年2月7日 11:00頃発見
- 数量：フナ約100匹
- 水質調査：魚のへい死確認後に水質調査を実施しましたが、異常は確認されておりません。

へい死の原因調査結果

- 岩手県内水面水産技術センターによる調査の結果、感染性の病気は確認されませんでした。
- 今回の事案について、河川水辺の国勢調査アドバイザー（※1）の魚類の専門家から、「魚（ゲンゴロウブナ）が集団で狭い場所に集まり酸素不足で死亡した可能性が高いと思われる」との助言をいただいております。

※1：国土交通省等で実施している河川・ダムの動植物類の調査において、調査に関する助言を頂いている学識経験者

北上川ダム統合管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

※発表記者会：岩手県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所
副 所 長 榎田 雅士
管理第二課長 小野寺 将海
盛岡市下厨川字四十四田1 TEL 019-643-7831